

異常時の安全そっちのけ! 社会人野球の応援を最優先!

一昔は雪に弱い新幹線と言われていましたが、今は雨にも弱い新幹線と揶揄されるようになりました。運転を取り止める事は安全最優先のキャッチフレーズからしては素晴らしい事です。

今年最後の連休となる初日の11月2日、温帯低気圧の影響により東海道新幹線・山陽新幹線がストップしました。大幅な列車の遅れや列車運休が多発し、新大阪駅以西の直通下り列車は、新大阪駅や岡山駅で運転中止となり、下りホームは乗客があふれ、歩行も困難な危険な状況となりました。そのため、新大阪駅の介助担当社員は、休憩時間の変更、休憩時間返上、前残業や後残業が発生し大混乱となりました。

この当日は、折しも京セラドームにおいて、社会人野球日本選手権大会が開催されており、J R東海野球部の試合も組まれていました。そして、現場が大混乱に至っている只中で、J R東海社員、そしてサービック社員も大応援団として動員させられました。その1人が新大阪第二事業所の福田副所長だったのです。福田副所長は、非番でしたが、引き留める社員を振り切り、異常時対応そっちのけで京セラドームに直行しました。その時の社員とのやり取りは以下の通りです。

社員：「ダイヤが乱れているのに業務そっちのけで野球応援ですか？」

副所長：「藤本(管理者)が残るしカマヘン！」

社員：「それはダメでしょう。業務が優先でしょう！」

副所長：「行くわ！お疲れ！」

尚、福田副所長は11月6日の始業点呼で、「11月2日のダイヤ乱れはお疲れ様でした。車椅子の未対応が多発しました。未対応はお客様の怪我に繋がりますので注意して下さい。」と注意喚起をしました。

後日談になりますが、新大阪第二事業所内山所長曰く、資質の問題ですね！

メールアドレス・ jsrou@yahoo.ne.jp

